



教訓十五條



特別  
~ 4  
7008





長丸光原の  
野人者訓十の條

友割十の條

一 教道以貴為身要長常。忘却

有命一の所事

44-3502



長丸光原の  
歌の者判すまの徳

友割十の條

一 歌道以貴為身要義當之忘却  
有句こつちの事

一 京極若のら初抄の事  
深く思ふ事

一 割初之者道加難視不能之覚悟

一 徳吉の母初風脚也

やまのこをいひこゝも習練未一

一 初なる事分ちをいひ紙牘一寸

一 車百首おこ道のし句は事や日教

と練こも況必辛苦也

海よりみはらぬ句

一 初なる歌教の事

一 句一之有ふそ十首サる

習練百首をいひ

百それとよむ事

一 事のし

一 事のし

一 事のし

歌事







うらな事也。依し若狭の漢書あり  
漢書と。いものあはしうあつ、東中。い  
ぢ

一 秋の習練と古款と魏覚とあはし  
叶あや三代集の海。新勅撰集と新  
魏覚覚意取。魚とと家集ととのあは  
集。あ店集を優美と種言集信号  
近代情態と比類世とといふ。二條  
家の眼目也と

一 作例事右の集を勿得。うり用也  
十代集とあを用捨あり。強必と詠  
用義のりを数ぬ。の家集新と書あ  
作例也。り用ありと也

一 新文章とさる事。最初の若狭と  
正とと常と人のあは。あは各あは左事  
本歴等。を其事子よりあは

一 初心石連歌和歌部潜あはいから  
事始とあは魚と。は達のいあは

難れま也

一 當時代人秋栞判を逢貼若狭と  
端と魚と。は穿鑿を秋子益れ  
一 こと事子害あは能ははあは

右修、當家門才事

一の有覚悟者也



作例。門用。の。也。

一 精文章。事。最初の。也。  
一 正。常。人。の。也。  
一 本。歴。等。を。其。事。子。の。也。  
一 初心。肩。連。致。致。部。階。本。子。の。也。  
一 事。始。の。也。

難。れ。也。

一 當時。代人。致。致。判。を。連。貼。若。也。  
一 端。と。魚。の。穿。鑿。我。致。子。益。れ。く。  
一 事。事。子。害。而。の。能。は。は。は。

右。修。當。家。門。才。事。

一。有。覚。悟。者。也。

先。集。